

～ 麻しん・風しんにかからないための唯一の方法は予防接種です ～

# 麻しん・風しん混合(MR)ワクチンの 予防接種をうけましょう！



麻しん(はしか)と風しんは感染力が強く、大都市圏を中心に多くの人と接触する場所での集団感染がみられます。近年、麻しんはアジア、アフリカ、ヨーロッパの海外流行国からの訪問者や海外渡航者がウイルスを国内に持ち込み、集団感染になる事例が報告されています。

風しんは平成24～25年にかけて大きな流行が発生しており、十分な注意が必要です。

また、平成29年の全国における風しん患者の5人に1人が10歳未満で、患者のほとんどが予防接種をしていませんでした。

麻しんと風しんは特別な治療法がなく、予防接種の効果が高い病気です。免疫を持たない人が患者と接触すると、ほとんどの人が発症すると言われ、確実に予防するためには2回の予防接種が必要です。

## 定期接種対象者(無料で接種できる年齢)

**[1期] 生後12～24か月に至るまで(2歳の誕生日前日まで)**



1歳になったら、誕生日プレゼントにワクチン接種を！  
お母さんからの免疫がなくなる1歳を過ぎたら、なるべく早い時期に予防接種をうけることをおすすめします。



**[2期] 小学校就学前1年間(年長児：4/1～翌年3/31迄)**

4月になったら、出来るだけ早く接種してね。  
委託医療機関はこちら

小学校入学準備に2回目のワクチン接種を！

～ 2回の接種が必要な理由 ～

1回接種のみでは免疫がつかなかったり、免疫が持続せずに麻しんにかかってしまうことがあります。

2回の接種で98～99%の子どもに、麻しんと風しん両方の免疫が付きます。

麻しんにかかると合併症を伴って重症化することがあります。

風しんは妊娠中にかかると出生児に先天性風しん症候群を引き起こすことがあります。

将来の進学や就職時に、麻しんワクチンの接種の有無が問われることがあります。



**1期・2期の期間以外は任意接種となり1万円程度の自己負担がかかります。**

### 接種間隔について

生ワクチン(麻しん風しん・水痘)を接種したあとは27日以上、不活化ワクチン(日本脳炎・インフルエンザなど)を接種したあとは6日以上の間隔をあける必要があります。計画的に接種を受けましょう。

### 副反応について

1回目の接種後2週間以内に発熱(13%)や発しん(3%)がみられますが、通常は1から3日で治ります。2回目の接種では、発熱や発しんの頻度は極めて低くなります。まれに脳炎や脳症(100万から150万人に1人以下)がおこることがあります。

## 麻疹はどんな病気ですか？



昔は「**命定め**（麻疹にかかったら生きるか死ぬかわからないこと）の**病気**」と言われていました。**感染力**がきわめて高く、**予防接種**をしないと**ほとんどの人**がかかる**病気**です。**感染**して**回復**するまで約**7～10日間**と長い**ため**、**身体**への**負担**が強く、**合併症**によって**10人に1人**は**入院**することがある**ため**、**世界レベル**での**排除**が**目標**になっています。



### 感染経路と潜伏期間

患者のせきやくしゃみに含まれる麻疹ウイルスにより**空気感染**、**飛沫感染**、**接触感染**します。**潜伏期間**は約**10～12日**です。

### 症状

主な**症状**は**発熱**、**せき**、**鼻水**、**目の充血**、**発しん**です。**最初**3～4日間は**38** 前後の**熱**で、**一時**おさまりかけたあと、**再び**高熱と**発しん**が出ます。**高熱**は3～4日で**解熱**し、**次第**に**発しん**も**消失**します。

### 合併症

**気管支炎**、**中耳炎**、**肺炎**、**脳炎**があり、**患者**100人中、**中耳炎**は5～15人、**脳炎**は1,000人に**1人**の割合で**発生**がみられます。

また、**数年**から**10数年**経過した後に**発症**する**亜急性硬化性全脳炎**(SSPE)という**慢性**に経過する**脳炎**は、**10万人**に**1人**発生します。さらに麻疹にかかった人は**1,000人**に**1人**の割合で**死亡**します。**予防接種**を受けると、**これらの重い合併症**は**おこりません**。

## 風しんはどんな病気ですか？



**発しん**や**発熱**が**3日**程度で治ることが多いので「**三日ばしか**」ともいわれます。

**妊婦**が**妊娠初期**に風しんにかかると、**先天性風しん症候群**(**先天性心疾患**、**白内障**、**難聴**など)の**子ども**が**生まれる可能性**が高くなります。**妊娠中**の**女性**は、**予防接種**を受けることができない**ため**、**妊娠前**に**予防接種**を受けておくことが**大切**です。また、**男性**も風しんにかかって**周囲**の**妊婦**に**感染**させないように**予防接種**を受けておくことが**大切**です。



### 感染経路と潜伏期間

患者のせきやくしゃみに含まれる風しんウイルスにより**飛沫感染**します。**潜伏期間**は約**14～21日**です。

### 症状

主な**症状**は麻疹より**淡い色**の**赤い発しん**、**発熱**、**首**の**後ろ**の**リンパ節**が**はれる**などです。その他に、**せき**、**鼻水**、**目の充血**などの**症状**が**みられる**こともあります。

### 合併症

**関節痛**、**血小板減少性紫斑病**、**脳炎**が**報告**されています。**患者**の中で、**血小板減少性紫斑病**は約**3,000人**に**1人**、**脳炎**は約**6,000人**に**1人**ほどの割合で**発症**します。**大人**になってからかかると、**子ども**の時より**重症化**する**傾向**が**みられます**。

### 【お問い合わせ先】

各区**保健福祉センター**

大阪市**保健所感染症対策課**

TEL 06-6647-0656

平成30年4月